

団体名 糸満市教育委員会&生涯学習課	連絡先 TEL: 098-840-8163 Email: gakushin@city.itoman.lg.jp
-----------------------	--

1 実践事項 (③)

タイトル：「PBL 授業（課題解決型学習）の実施」

令和2年度に、職場体験の代替授業として高嶺中で独自に実施されたのを皮切りに、令和3年度から生涯学習課で予算化をして4校で実施。今年度は、糸満市にゆかりのある企業と一緒に、全6中学校で実施した。PBL 授業は、企業から出された正解のない課題にグループで取り組む中で、グループでの話し合いと、提案内容の根拠を得るためのアクションが取組のメインとなる。

2 実践内容

- 2学期の総合的な学習の時間にて実施（約30時間）。学年は1年か2年（学校により異なる）。
- 1クラスに1企業、計18の企業（建設業、観光業、製造業、IT、農業、美容、福祉、保育）やNPO法人、ボランティア団体、公的機関、フリーランスの方々が約2か月間授業に関わった。
- 最初に、企業講師は自身の仕事内容を話した後、抱えている課題を「ミッション」として生徒に提示した。生徒は、解決策をグループで考えて、Google スライドにプレゼン内容をまとめた。
- 1か月後、中間発表として、生徒は企業講師へ解決策をプレゼンした。企業講師は良い点と改善点を厳しめに伝えた。生徒はもらったアドバイスをもとにプレゼン内容をブラッシュアップした。
- さらに1か月後、最終発表として、生徒はブラッシュアップした解決策を企業講師へプレゼンした。企業講師は伸びた点を中心に褒めて、講評した。
- 各学校代表6グループが、1月13日に「糸満市教育の日」の実践発表としてシャボン玉石けんくくる糸満にて、市長、教育長、企業講師、生徒児童、保護者の前でプレゼン発表を行った。

3 説明資料



企業講師からのミッション提示



最終発表会



くくる糸満での発表会

4 成果

《生徒の感想・アンケート結果》PBL 授業を通して、プレゼンでの根拠や理由の大切さや、グループで協力することの重要性が主に学びました。/ 事前→事後アンケートより、「自分の住んでいる糸満市のことについてよくわかり、地域の活動や人に関わろうとしている」と答えた割合が52%→72%に増加した。

《企業講師の感想・アンケート結果》自分自身のモチベーションが上がった！ / 子どもたちの無限の可能性を感じることができた！ / 企業講師全員が「PBL 授業で子どもたちが身につけた力は社会に出たときに有効」「PBL 授業を続けていくことが糸満市の活性化に寄与する」と回答した。

《教員の感想・アンケート結果》課題に対して、どのようなアプローチをすれば解決できるのかを、様々な視点から考えることができるようになった。また、人前での発表や質問に対してどのように答えたらいいのか思考を巡らせながら考える力がついたと思う。

5 課題

①企業講師の協力。②教員のファシリテーターとしての動き方。